ハンドマイク街頭演説原稿例　志位来たる・石破首相が商品券配る

二〇二五年三月十五日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、四月十二日土曜日午後二時から、ＪＲ大宮駅西口で、日本共産党の志位和夫議長を迎えての街頭演説を行います。この機会に、ぜひ日本共産党のお話をお聞きください。よろしくお願いいたします。

　さてみなさん、石破茂総理が昨年秋の衆議院総選挙で初当選した自民党議員十五人に対して、十万円相当の商品券を配っていたことが明らかになりました。首相公邸で三月三日に行われた懇親会の参加者が対象でした。石破総理は自分のポケットマネーで配ったものだ、法律的に問題はないと主張していますが、やり方が政治資金集めパーティー券の売り上げを使った裏金作りとそっくりです。自民党の金権体質の根深さがよく現れているのではないでしょうか。

　昨年秋の総選挙では自民党の裏金問題が鋭く問われ、自民党と公明党の連立与党が過半数割れに追い込まれました。それなのに、厳しい審判を受けた自民党のトップである石破総理が、その選挙で初当選した議員に、表に出ない形で、お金に準ずる商品券を配ったというのです。裏金問題に対する反省がまったく見えません。

　みなさん、今回の事態は、石破総理がいかに私たち国民生活とかけ離れた金銭感覚で政治をおこなっているかを、はっきりと描き出しているのではないでしょうか。日々の暮らしを一生懸命に生きている国民の苦しみを尻目に、総額百五十万円の商品券をポケットマネーでポンと出し、なんの問題も感じないという金銭感覚は、国民と大きくずれています。このような感覚だから、患者さんの負担を大幅に増やす高額療養費制度の見直しを平気で言えるし、私たち国民の生活を支える社会保障の予算を容赦無くバッサリ削れるのだと言わざるを得ません。

　商品券を配ってほしいのは、物価高騰で苦しむ国民の方ではないでしょうか。新年度予算案は、いま参議院で審議中です。日本共産党は軍備増強や巨大企業応援のためにばく大な予算を大盤振る舞いする政治から、国民の暮らしを支えることを第一に取り組む政治へと、日本の政治をおおもとから変えるため、全力で頑張ります。これからも日本共産党へのご支持、ご協力をよろしくお願いします。

　みなさん、今年の夏には参議院選挙が行われます。衆議院に続いて、今度は参議院でも与党を少数に追い込み、国民の切実な願いを実現するチャンスです。そのためにも、日本共産党を大きくすることがどうしても必要です。日本共産党は政党を選ぶ比例代表で、はたやま和也・元衆議院議員を含む五議席の獲得、定数四の埼玉選挙区で現職の伊藤岳参議院議員の再選をかちとるため、全力で頑張ります。日本共産党と伊藤岳に、みなさんのお力をお貸しくださいますよう、よろしくお願いします。

　自民党の裏金問題を最初にスクープした、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）